

The **ザ・グッドルッキン** Bike

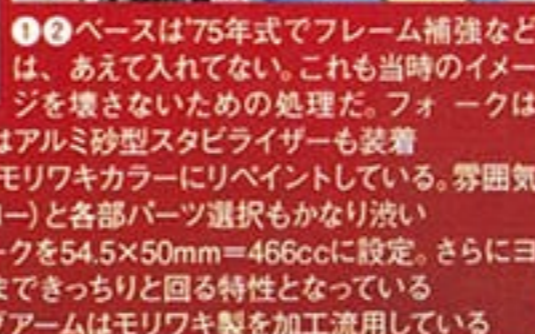
R/Rがカッコいい、参考にしてほしいカスタム車両を紹介する“ザ・グッドルッキンバイク”。今回は'70年代当時存在していたかのような雰囲気を改めて作り出したヨンフォア・カフェから。



当時は存在しなかった、幻の'70sカフェ

BRC CB400Four

TIRE:DUNLOP TT100GP (F)3.00-18・(R)3.50-18



STDをベースにBRC製エアフォークキットを組み込み、インナーチューブにはアルミ砂型スタビライザーも装着
 ①ロングタンク、シングルシートはセレクト製の当時モノをチョイス、それをモリワキカラーにリペイントしている。雰囲気はなかなかのものだ。アルフィンカバーはBRC製、リヤサスはS&W製(モノロー)と各部パーツ選択もかなり濃い
 ②③エンジンは408cc用クランクとヨシムラ製ピストンによりボア×ストロークを54.5×50mm=466ccに設定。さらにヨシムラST-1カム、CRキャブ+モリワキ製手曲げマフラーなどにより、高回転まできっちり回る特性となっている
 ④1.85-18/2.15-18サイズのホイールはBRC製セブンスターホイール。スイングアームはモリワキ製を加工流用している

「ヨンフォアって、ヨシムラ仕様はわりと見かけるけど、なぜかモリワキ仕様って見かけないでしょう。それで作ったのが、この車両なんです」(BRC代表・渡邊さん)

それもそのはずで、'70年代当時、モリワキからはCB400Four用の外装キットは発売されていなかった(70年代にモリワキが手がけていたのはZ1000エンジンを搭載したモンスターで、CBX400FとZ400FXで国内TT-F3に参戦するようになるのは'82年から)。要するにこの車両、セレクトIIフシミレーシング製のロングタンクとシングルシートを装着し、カラーリングを青×黄のモリワキ仕様、つまり400版モリワキ・モンスターにしたという、かなりひねった'70年代カフェスタイルなのである。

各部パーツのセレクトも、凝りに凝っている。ヘッドライトはマーシャル、ハンドルはリード、レバーはマグラのパワーレバー。もちろんどれも当時モノのレアパーツばかりだ。手曲げ最終型の直管マフラー、他機種用対応品を加工流用したという角タイプのスイングアームなど、BRCがストックしているパーツに関してには、できる限り自家モリワキのパーツを使っている。だが、これも普通ならなかなか手に入らないレアなパーツばかりであることは、言うまでもないだろう。

その上でキャブレターをCRに、EXを集合タイプにしたことでエンジンの伸びと吹け上がりが良くなった(渡邊さん)というのは、この車両がルックスだけに注力したのではないことも教えてくれる。当時の雰囲気を取り戻すのに、当時の雰囲気を感じさせる裏には、こうしたBRCの地道な努力、そしてアレンジ力の両方が光っているのだ。

Photo:清水良太郎/竹内美治/富樫秀明/伊藤 均/海保 研/箱崎太輔

●BRC (ビーアールシー) ☎088-622-0003 〒770-0861徳島県徳島市住吉5-8-31 www.brcinc.co.jp/